

食品卸会社の経営改善支援

アート食品株式会社 (埼玉県)

食品卸(外食チェーン、コンビニ、食品メーカー向け食材開発)

1. 相談のきっかけ

中小機構、群馬銀行との連携案件。

《支援ニーズ》

1. 事業継承して2年経過。販売額は増加しているが、収益率が落ちている。
2. 従業員18名の半数がメニュー開発に従事しているが、開発に時間がかかり、個人差もあり、成約率が低い。

2. 課題整理・分析

市場動向、ターゲット顧客、顧客のニーズ、ビジネス競争力について議論を行い、経営課題の抽出作業を行った結果、以下3点が重点課題であることを確認した。

1. メニュー開発期間の短縮
2. ロス削減
3. リーダー、幹部社員の育成

3. 解決策の提案

1. 社長がかねてより導入を考えていた味の数値化技術を導入することによりメニュー開発期間を短縮する。
2. 長年の知恵・知識・経験をデジタル化することにより、同じミスによるロス発生を未然に防ぐ。
3. 経営診断報告書の作成により、社員のベクトル合わせを行う。



4. 成果

1. 財務診断報告書を作成し、メニュー開発から採択までの時間が長期化し、併せてロスが発生していることが収益悪化の要因であることを確認した。
2. 数回の面談を通じて、以下の項目をまとめた「診断報告書」を作成、項目ごとに確認を行い、改善のための行動計画の作成支援を行った。
 - ①環境分析(SWOT分析ならびにクロス分析)
 - ②業界動向分析(食品業界)
 - ③事業の方向性(ターゲット顧客、顧客のニーズ、ビジネス競争力)の確認
 - ④重要成功要因(5つの具体策)
 - ⑤経営戦略(経営理念、経営目標)
 - ⑥営業戦略
 - ⑦人材育成(スキルマップの作成、個人別育成計画)
3. 味の数値化技術による「たれ・ソース・下味調味液」の開発業務の高度化テーマに「ものづくり補助金」の申請支援を行った。
4. 同上テーマをベースに経営革新計画の申請を手続き中。